

ちいきのなかま通信



No.90

発行日：2021年10月

25日

発行者：特定非営利活動法人 ちいきのなかま

支援を受け支援する日々 ～産前産後家事サポート報告を中心に～

2021年度、家事サポート利用は数字を伸ばしつつ推移しています。「以前のお産で追い詰められた、大変だったから」と第2子めの出産にあたっての相談や利用も多いです。第1子めは怖いもの知らずで産後の暮らしに突入してみて、想定以上の大変さにびっくり！が現状だと思います。昔はその時期を一緒に乗り切ってくれる手助けがあたりまえに身近にありました。出産前に産後の暮らし情報が具体的に伝わるのが大事です。コロナ禍で厳しい環境となり、



利用した方もいます。濃厚接触者となると外出もできず、産後に必要な買い物ができない！のSOSにも対応しました。現場はてんやわんやです。幸い関係者のコロナ感染がなく、それは一番ありがたいことでした。このような取組に関心を寄せてくださる方も確実に増えています。

家事サポート利用件数一覧 2020年9月～21年9月

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
育児等支援サービス	3	25	38	45	37	37	37	30	23	22	29	31	43	400
家事サポート	1	9	7	27	9	7	10	12	11	15	16	24	25	173
【寄付】家事サポート								5	19	18	7	3	5	57
合計	4	34	45	72	46	44	47	47	53	55	52	58	73	630

《ある日の記録より…サポートはきょうだい児にとっても大事な支えです。》

□今回初めて、ご兄弟二人のお預かりをしました。いつも、泣いて私を迎えてくれるのに、今日は笑顔で迎えてくれて、ママが居ても私の側に来てくれました。甘えん坊で、抱っこばかりのお兄ちゃん。赤ちゃんが寝ている手がかからない時は、体を使っておもいっきり遊びました。おやつも水分も、しっかり取れました。赤ちゃんが起きて泣き出し、オムツ交換や抱き上げると、お兄ちゃんが泣きじゃくり、かなり妬んでいる様子でした。なるべくお兄ちゃんを大丈夫！大丈夫！と抱っこして、落ち着かせる事が多かったです。

□Mちゃんは12日までコロナ感染予防で自宅保育の予定。くんと喧嘩しながら遊んでいました。しょっちゅう喧嘩しては仲直りして、わがママを言っではお母様に怒られ、身体を動かしたり大きな声を出すとまた怒られ、家の中ではストレスが溜まっている様子でした。帰ろうとすると、2人から帰らないで！もっというて！と泣かれ、後ろ髪ひかれながら自宅を後にしました。

サポートへの寄付利用の実績

月	寄付利用額
4月	9,500
5月	30,000
6月	30,000
7月	14,000
8月	6,000
9月	18,000
合計	107,500

のべ57件のサポートに活用させていただきました！



いらすとでみるちいきのなかま「〇〇のこ〜んなかんじ」

ちいきのなかまの周りで起こる出来事をイラストで紹介☆

こどもの事情 こ〜んなかんじ

by 蓮すけ



「子どもが子ども時代を子どもとしてのびのびと育つこと」は子どもの権利です（子どもの権利条約 4つの原則より）。子育て支援に関わる私たちは、保護者のニーズに対応してサービスを提供します。私たちの仕事は前提として保護者の基本的人権を尊重します。それぞれの家族を見つめて、親子それぞれがどうあったら相互に権利侵害されないのか、本当に難しいことだと思います。

ある夕方、シングルマザー宅を訪問、利用相談で話しました。祖母もシングルで就労しているし関係はよくないので助けてもらえないと母親は言います。横で3歳になる小さな女の子がじっと話を聞いています。母親が席を立ったら、女の子が私に小声で「ボールペンこわすと叱られるよ」…とささやきました。私が手元でペンをいじっているのが心配で助言をしてくれたのでした。きっと、彼女はいつもママから注意を受けるので、おばちゃんも壊して叱られたら可愛そうだなと思ったみたい、やさしい。3歳の彼女は小さいながら母親を注意深く見ていて、母親が安心できるように振る舞い始めています。日々、少しずつ自分の気持ちを抑制しているのかもしれない。子どもは健気です。日々仕事と生活に追われる母親に子どもの気持ちを察して応えることは困難だと思います。その大切さを伝えることは、時として母親を追い詰めることにもなりかねません。この日、私は、母親にそのことを伝えられないまま、帰途につきました。

緊張感がある家庭の中の子どもたちは、大人の様子をよく見えています。自分の希望や思いを伝えると親が悲しむかも、否定されるかもしれないと経験的に学び、気持ちに封印することも多いと思います。このような状況に支援が必要だと思いつけています。



家族のための後見セミナーの開催します！

なぜ今「後見制度」？

なぜ「ちいきのなかま」が取り組むの？

「成年後見制度」は実施されてから、随分時間が経ちましたが、様々な理由から、思いのほか利用されていない現状です。国は平成28年に成年後見制度促進法を施行し、地方公共団体とともにこの制度の周知と利用促進をはかることとしました。現在、各地方自治体において「協議会」が立ち上げられて利用促進に向けた検討がなされています（佐世保市のHPでも議事録等が公開されています）。

この情報は守永が個人的に参加している「きょうだい支援の会」のシニアミーティングの学習会で、知りました。その折、各地のきょうだいたちから、後見制度利用によるトラブルが提起されて問題を再認識しました。

NPO法人ちいきのなかまは、「子育て支援・家族支援」の立場で「障がい児・者問題」を見つめてきました。コロナ禍以前の数年間は「きょうだい支援講演会」を長崎県内各地で開催し、課題提起のみでしたが、この問題の周知に努めてきました。近年、ヤングケアラーの問題が表面化したこともあり、以前より子ども時代から高齢に至るまで、きょうだいたちが抱える問題についての情報をいただく機会が増えています。親亡き後を心配する保護者の方はたくさんいますが、確実なのは、その家族に「きょうだい」がいれば、親よりもきょうだいの方が長く障がい当事者に関わって生きる、ということです。子ども時代からきょうだいには支援が必要なのですが、後見制度も含めて、大人のきょうだい抱える課題は、複雑です。親の介護、きょうだいのお世話、とダブルまたはトリプルケアに取り組む人もたくさんいます。

障がい児・者のご家庭の大変さは、子育て支援現場でも感じてきていました。ちいきのなかまという「子育て支援」と思う方も多いのですが、日頃から、障がい者と家族の問題は地域の解決すべき大事な課題という認識を持って活動してきました。当法人の理事6名のうち4名が障がい者の家族であり、理事会でも障がいテーマの論議がごく自然に行われています。私たち一人ひとりにとっても自分の問題でもあります。会として新しい情報を得る機会として、今回のセミナーをととも楽しみにしています。


これまで、様々な学習会を経て、組織として次のアクションを作り出してまいりました。今回の取り組みもまた、新たなプランにつながるのかもしれませんが。当日は、幅広い方々のご来場をお待ちしております。ぜひご参加ください。

主催：NPO法人ちいきのなかま 家族支援セミナー 共催：後見制度と家族の会
本人（認知症・障がい当事者）と
家族のための後見セミナー
ほかでは聞けない ぶつちやけのお話

開催日時：'21年11月27日（土）10:30～12:10
会場：佐世保市労働福祉センター 中研修室
参加費：¥1,000
申込み：NPO法人 ちいきのなかま HP
申し込みフォームより
TEL 090-9498-3608
E-mail chikinakanaka@mail.ocn.ne.jp
※個別相談も別途受け付けます（先着順）



講師：宮内 康二氏（一般社団法人 後見の社 代表）

 早稲田大学卒業、東京工芸大学大学院修士課程修了、ニッセイ基礎研究所研究員、東京大学教員を辞職。
「成年後見の現状：理解の体系化に関する研究」厚生労働省平成23～24年「国政における政策研究推進事業」研究費助成。平成25～26年「市民後見人養成に関する教育機関の連携促進と福祉活動の連携推進事業」文部科学省 平成20～22年 助成。
メディア出演「あさイチ」「TBS「働く東京アソシエ」」「BS11「お金の相談」」「BS11「お金の相談」」「BS11「お金の相談」」など。週刊朝日、月刊アプレシアント ほか

「一般社団法人 後見の社」 掲載はこちら

「成年後見制度」って、どんなふう当事者や家族を支えるんですか？どうやら今後積極的に促進されるらしいので、そこで広く検討されていく専門家に聞いてみることにしました。みなさんの権利と財産を護る上で大事な情報を得たいです。まだ皆さんに知られていません。この学習会はNPO法人ちいきのなかまが家族支援事業の一環として、後援団体、支援団体ともに取り組んでいます。ぜひご参加ください。



●これからのイベントや講座の予定●

イベント名	日時	会場	内容
ぼちぼちヨガ教室	11月8日・22日 (月) 14:00～15:00	ボランティア センター別館	定期開催 参加費¥500 会員外¥800
ファミサポ北部地区 交流会	11月6日(土) 11日(木) 10:00～12:00	吉井地区 コミュニティセンター	
おもちゃ整理の日	11月16日(火) 10:00頃から	ファミサポ事務所	おもちゃ遊びは10:30から OK
子育て支援者 つながる会議	11月18日(木) 13:30から	市民活動交流 プラザ	子育て支援者研修会 参加費¥500
後見制度セミナー	11月27日(土) 10:30～12:10	佐世保市 労働福祉センター	参加費¥1,000

編集後記

緊急事態宣言解除とともに子育て支援の現場が急に動き始めました。日常が帰ってきました。ちいきのなかまの活動も、寒い中ですが、春先の芽吹きのように元気です。今、女性たちはなぜ社会貢献をするのか、インタビューに取り組んでいます。子育て支援現場の支え手の主力は女性です。さまざまな支援で内なる力を発揮する女性たちはなぜ支援を選択してくれるのか…この現象は佐世保だけでなく、全国で起きています。ボランティアに依存する福祉は間違えています。支え合いの気持ちは次世代につなげていきたいと思えます。インタビューは、文字に起こして冊子にする予定です。長寿社会になり、女性たちの健康にとって社会貢献活動が持つ意義も調べてみたいと思っています。この作業、ボランティアでのお手伝いを募集します。関心ある方、お手伝いよろしく願いいたします。

NPO法人ちいきのなかま



入会・会員(正・賛助)会員継続のご案内
正会員: 総会議決権あり 入会金¥1,000 年会費 ¥6,000
賛助会員: 総会議決権なし 年会費¥3,000
主な特典: 各種事業会員特別料金にてご優待
連絡先 NPO法人ちいきのなかま

〒857 0022長崎県佐世保市山手町9-19
 携帯 090-9498-3608
 E-mail: chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp
 HP: <http://chiikinonakama.boo.jp/>

